

平成 23 (2011) 年度

慶應義塾大学 点検・評価報告書

目次

序章	1
本章	
1 理念・目的	
1.1 現状の説明	
(1) 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。	2
(2) 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。	15
(3) 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。	21
1.2 点検・評価	27
1.3 将来に向けた発展方策	36
1.4 根拠資料	45
2 教育研究組織	
2.1 現状の説明	
(1) 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。	49
(2) 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。	59
2.2 点検・評価	65
2.3 将来に向けた発展方策	75
2.4 根拠資料	84
3 教員・教員組織	
3.1 現状の説明	
(1) 大学として求める教員像および教員組織の編成方針を明確に定めているか。	87
(2) 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。	97
(3) 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。	104
(4) 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。	110
3.2 点検・評価	116
3.3 将来に向けた発展方策	125
3.4 根拠資料	133
4 - 1 教育内容・方法・成果（教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針）	
4.1.1 現状の説明	
(1) 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。	136

(2)	教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。	148
(3)	教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。	163
(4)	教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。	168
2.	点検・評価	173
3.	将来に向けた発展方策	181
4.	根拠資料	188
4 - 2	教育内容・方法・成果（教育課程・教育内容）	
1.	現状の説明	
(1)	教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	191
(2)	教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。	203
2.	点検・評価	217
3.	将来に向けた発展方策	229
4.	根拠資料	237
4 - 3	教育内容・方法・成果（教育方法）	
1.	現状の説明	
(1)	教育方法および学習指導は適切か。	239
(2)	シラバスに基づいて授業が展開されているか。	255
(3)	成績評価と単位認定は適切に行われているか。	260
(4)	教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結び付けているか。	269
2.	点検・評価	274
3.	将来に向けた発展方策	283
4.	根拠資料	290
4 - 4	教育内容・方法・成果（成果）	
1.	現状の説明	
(1)	教育目標に沿った成果が上がっているか。	292
(2)	学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。	300
2.	点検・評価	307
3.	将来に向けた発展方策	314
4.	根拠資料	319
5	学生の受け入れ	
1.	現状の説明	

(1)	学生の受け入れ方針を明示しているか。	321
(2)	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。	331
(3)	適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	341
(4)	学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。	348
2.	点検・評価	352
3.	将来に向けた発展方策	362
4.	根拠資料	369
6	学生支援	
1.	現状の説明	
(1)	学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう学生支援に関する方針を明確に定めているか。	372
(2)	学生への修学支援は適切に行われているか	372
(3)	学生の生活支援は適切に行われているか。	375
(4)	学生の進路支援は適切に行われているか。	377
2.	点検・評価	379
3.	将来に向けた発展方策	382
4.	根拠資料	383
7	教育研究環境	
1.	現状の説明	
(1)	教育研究環境の整備に関する方針を明確に定めているか。	385
(2)	十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。	385
(3)	図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。	386
(4)	教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。	389
(5)	研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。	401
2.	点検・評価	402
3.	将来に向けた発展方策	402
4.	根拠資料	403
8	社会連携・社会貢献	
1.	現状の説明	
(1)	社会との連携・協力に関する方針を定めているか。	405
(2)	教育研究の成果を適切に社会に還元しているか。	406
2.	点検・評価	414
3.	将来に向けた発展方策	415
4.	根拠資料	415

9 - 1	管理運営・財務（管理運営）	
1.	現状の説明	
(1)	大学の理念・目的の実現に向けて、管理運営方針を明確に定めているか。	417
(2)	明文化された規定に基づいて管理運営を行っているか。	418
(3)	大学業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか。	419
(4)	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか。	420
2.	点検・評価	421
3.	将来に向けた発展方策	422
4.	根拠資料	422
9 - 2	管理運営・財務（財務）	
1.	現状の説明	
(1)	教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。	424
(2)	予算編成および予算執行は適切に行っているか。	427
2.	点検・評価	429
3.	将来に向けた発展方策	430
4.	根拠資料	431
10	内部質保証	
1.	現状の説明	
(1)	大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか。	432
(2)	内部質保証に関するシステムを整備しているか。	433
(3)	内部質保証システムを適切に機能させているか。	436
2.	点検・評価	438
3.	将来に向けた発展方策	439
4.	根拠資料	439
終章		441